

二部地区活性化だより

野上川の風

発行
二部地区活性化推進機構

編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159



●二部保育園児と多々楽学園女性部の交流

小学生とNB合唱団のコーラス交流

多世代交流の大切さ

親から子へ 子から孫へと

世代を重ねながら

伝統文化や 生活の知恵が

引き継がれて きた

だが 年寄りには 田舎で

若者は 都会での核家族

これでは 伝わるものが

頓挫 する

いま 望まれることは

年寄りと 子供の交流だ

学校教育と 社会教育

PTAと 老人クラブ

互いの連携で 次世代を育てよう

二部公民館では、小学校や保育園と連携して多世代交流に力をいれている。七夕祭りやしめ縄づくりの、伝統行事、郷土料理や絵手紙、コーラス等趣味に係る交流会もある。これからも、G・ボール、Gゴルフのスポーツ交流、道路清掃などのボランティア活動、礼儀マナーを学ぶ、茶道など、交流の巾を拡げてほしい。

平成十九年度 委員総会の開催

六月十日委員総会が開催され、平成十九年度の事業計画並びに予算が決定されました。引き続き、『新農政と集落活動』と題して、前鳥取西部農協組合長・山西 敏氏の講演を聞きました。

▽平成十九年度事業計画△

本年度の事業計画は、これまでの継続的事业のほか平成二十年度の委員改選も考慮に入れ、また本会結成十周年を意義あらしめるため、昨年度取り組んだ「二部地区懇談会」の検討成果を踏まえ、次の重点課題を実行に移します。

一、二部地区ファンクラブ結成対策事業

二部地区の過疎化対策として、また限界集落に近い地域の活性化を目指して、新規に標題の事業を計画実施します。二部地区に生まれ育ち都市に就職した団塊世代のリタイアを契機に、郷土の危機を救い、活力を取り返すための支援組織を育成するのが目的であります。二部地区活性化に興味を持たれる都市居住の方々の意見を伺い、密接な連携と交流活動を行い、可能な範囲でＵターン、Ｉターンをも期待しながら増え続ける、荒廃農地や空き家対策も考えてみようというものです。

取り敢えず活動の実行計画を樹立する「特別委員」を選任し、対象者の把握と意見聴取などにより具体的な組織の育成を図ります。またイベント、ふるさと小包など交流対策を講じます。

これはまた、伯耆町の支援プロジェクト事業とも連携をして協働の実を揚げることに努力します。

二、活性化推進機構の組織検討事業

年次の経過と共にややマンネリ化した活動に活を入れ、組織の見直しを行なう時期が来ていると思われれます。特に委員年齢の高まりと共に、地域活性化に青年層の参加を促進するなど、男女共々力を借りる必要があります。そのため、委員選任のあり方、部会組織の体制など幅広く論議し、その結論を求める「特別委員」を先ず選任します。それには本会の規約改正にも繋げたいものです。

必要に応じて住民のアンケート調査も実施します。これによって本会の積極的な活動を活き返らせる計画です。

三、部会別事業計画は次のです。

①総務部会

ア 会報「野上川の風」年二回発行
イ 先進地視察(日帰り)
ウ 地域自治体制の検討
エ むらづくり講演会の開催
オ まちとの交流イベントの企画

②産業振興部会

ア 畦畔草生改良実証展示圃の管理運営
イ 山菜部会の支援と特産物育成
ウ 集落営農のモデル集落育成

③住みよい環境部会

ア 河川敷のヨシ刈りボランティアの推進
イ 町のゴミ減量作戦への協力
ウ ホタルの棲息調査

④趣味と生きがい部会

ア たたらまつり、多々楽学園(高齢者学級)への支援
イ 各種同好会活動の支援(ひょうたん・ドーム菊・花・野菜づくり)
ウ 二部谷風景の写真コンテスト継続実施(含む撮影会の開催)

⑤健康スポーツ部会

ア 町民運動会二部地区大会への協力
イ 二部地区健康ウォーキング開催
ウ 健康講演会の開催

⑥福祉ボランティア部会

ア 高齢者、障害者への支援活動
イ 青少年健全育成と学校行事への協力
ウ 道路、河川一斉清掃の実施(年二回)
エ 介護実習の体験教室開催

設立二〇周年

「本会の愛称募集」

本会は来年設立二〇周年を迎えます。地域の皆様に支えられての活動でしたが、一〇年ひと区ぎりのこの機会に、活性化組織の見直しを別稿事業計画により実施致します。この組織再編検討委員会(其山守美委員長)で見出しの愛称を募集することを決定しました。これ迄の堅苦しい正式名称(二部地区活性化推進機構)の他に使い易い「愛称」を持ったらと、もっと、親しみのある呼び名を募集するものです。葉書又は直接紙に記して事務局の二部公民館に届けて下さい。期限は十月二十日まで、一人数件でも結構で多数の応募を期待します。なお採用名の提案者には薄謝を進呈します。

平成18年度収支決算書

収入総額	678,414円
支出総額	385,180円
差し引き	293,234円 (19年度に繰越)

収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
会 費	184,000	368世帯×500円
補助金・交付金	200,000	県補助金100,000円等
繰 越 金	294,225	
雑 収 入	189	利息 189円
合 計	698,414	

支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
会 議 費	13,500	
事 業 費	226,247	総務部費 89,250円 産業振興部費 26,800円 住みよい環境部費 25,332円 趣味と生きがい部費 52,371円 健康スポーツ部費 5,994円 福祉ボランティア部費 26,500円
視察研修費	115,433	参加者19名
事 務 局 費	0	
雑 費	0	
予 備 費	30,000	謝金・慶弔等
合 計	385,180	

平成19年度収支予算書

収入総額	594,000円
支出総額	594,000円
差し引き	0円

収入の部

科 目	予 算 額	摘 要
会 費	200,000	400世帯×500円
補助金・交付金	100,000	県補助金100,000円
繰 越 金	293,234	
雑 収 入	766	預金利子等
合 計	594,000	

支出の部

科 目	予 算 額	摘 要
会 議 費	30,000	
事 業 費	380,000	総務部費 100,000円 産業振興部費 30,000円 住みよい環境部費 30,000円 趣味と生きがい部費 50,000円 健康スポーツ部費 30,000円 福祉ボランティア部費 40,000円 新規事業準備費 100,000円
視察研修費	100,000	
事 務 局 費	30,000	
雑 費	4,000	
予 備 費	50,000	
合 計	594,000	

現地研究会報告

畦畔草生改良実証圃の成功

現地研究会は、去る七月二十七日産業部会の主催で開催しました。

この実証圃は全農鳥取県本部、JA営農センター、米子農業改良普及所の応援指導を受けて、間地、田村清氏の畦畔を借りて昨年七月に設置しました。目的は面積比率の高い中山間地の水田畦畔の草刈労働を軽減するため、草丈の低いセンチピードグラス（シバの一種）を植付けた実証圃です。事前に除草剤散布をして雑草を枯らした跡に、セルトレイで育苗したピット苗を二、三〇cm四方

に一株の間隔で定植しました。時期は梅雨期が良く、一〇a換算の所要苗は二八八穴のセルトレイが約三〇枚必要です。

植付後一ケ年余経過の研究会で参加者が感動する程の繁殖状態でした。もちろん、この成果は担当者田村さんのご尽力も大で、早魃時の灌水、雑草の刈取り除去、そして施肥等充分な管理の賜です。一度現地を視ていただきたいものです。

今後これを普及するには、JAと連携して大量の苗作りをすること、中山間地交付金等を活用した集落対応をすることが望まれます。

実証圃の場所は、間地峠に向け県道左側で杉原収氏宅より少し上み手のビニールハウスの前側畦畔です。実証圃の看板が立っています。

（産業振興部会）



実証圃の現地研究会

セルトレイで育苗したピット苗を二、三〇cm四方に一株の間隔で定植しました。時期は梅雨期が良く、一〇a換算の所要苗は二八八穴のセルトレイが約三〇枚必要です。

排泄ケアは人間の尊厳にかかわるもの

● 副会長 樋口 春子

福祉ボランティア部会が今年度計画している介護実習の体験教室「排泄の介助方法」に、二部のこぶしの会会員十七名が受講した。

受講内容は左記のとおり

排尿の仕組とトラブルについて

尿は腎臓で作られ尿管を通して膀胱にいく。膀胱はゴム袋のようにふくらみ尿をためる。この時、尿道の周りの筋肉が縮まって尿をもらさないようにする。出そうと思うと、筋肉が広がり膀胱は縮んで排尿する。

膀胱と尿道が、神経の指令によって排尿をコントロールする。膀胱や尿道、周りの筋肉になんらかの障害が起きますと尿失禁の原因になる。

排尿のトラブルは様々であるが、その中で多いのが失禁とひん尿である。失禁にはタイプがあり、原因も様々である。

排便の仕組とトラブル

直腸は筋肉によってしっかり支えられている。便はいっぱい直腸に留まり、重くなったとき便意を感じ、力むと肛門が開いて排便する。

直腸を支える筋肉がゆるんだら、肛門に損傷があったり、便そのものに問題があると便失禁の原因になる。

排便のトラブルでは、急性、慢性の下痢、器質性、機能性の便秘などがある。便秘時に薬品を使い過ぎると、自分でコントロールしにくいので、出来るだけ使用しない方が望ましい。

※便意があるときにいかず我慢する



と便秘になりやすい。こういう時はウオッシュレットで刺激すると便がでやすくなるのとこのことお話しになってみては…。

おむつの種類とおむつの選択について
おむつにはテープタイプ、パンツタイプ、パットタイプ、パットの3種類がある。
テープタイプ：テープはクロス留めにするのと漏れにくい。
使用する人の状態にあうおむつを選ぶことが大切。もれる尿の量、体型、使う時間帯（昼・夜）介護力などが選ぶ際のポイントになる。

受講後の感想
排泄のケアは人間の尊厳にかかわるもの。常に人の気持ちを大切にすることが肝心であると気付かされた。現段階では介助者という立場にいるが、いずれ人様にお世話になることだろうから、今、自分ができることを笑顔でしっかり取り組んでいこうと思った。

活動日誌メモ

(月日) (内 容)
平成十九年

五、一六	山菜部会女性部打合せ	七、一八	西部地区土木施設愛護ボランティア団体活動推進協議会(米子) 会長・事務局長出席
五、二二	山菜賞味会メニュー打合せ	七、二七	畦畔草生改良実証圃現地研究会(間地) 一三名参加
六、三	道路河川一斉清掃	七、三〇	活性化特別委員会について 伯耆町役場と打合せ
六、六	役員会(委員総会対策)	八、七	第一回特別委員会 (ファンクラブ育成・組織検討合同会議)
六、七	第二回山菜賞味会 三四名参加	八、一九	野上川ヨシ刈りボランティア 一七名参加
六、一〇	委員総会 実出席 二六名参加 委任状 一四名参加	八、二二	第二回組織検討特別委員会 町民運動会実行委員会
六、二二	「集落営農と集落活動」 前JA組合長 山西 敦氏 福祉ボランティア出前講座 一七名参加	八、二六	野上川ヨシ刈り集草ボランティア 一七名参加
七、三	環境部会	八、二七	福祉ボランティア出前講座 一七名参加
七、六	産業部会	九、三	会報第一四号編集打合せ
七、一〇	趣味部会	九月上旬	会報第一四号 発行配布
七、一七	ボランティア部会		
七、一七	総務部会		
	スポーツ部会		

平成18年度

野上川ヨシ刈りボランティア会計報告書

○実施日

刈り払い／平成18年8月27日(参加者55名)

集草作業／平成18年9月3日(参加者29名)

○収入金額

委託料	640,000円(県土整備局より)
本会負担	1,632円
合 計	641,632円

○支出金額

作業人件費	434,500円
資材・消耗品費	109,000円(刈り払機替刃等)
弁当・お茶	90,000円
保険料	1,512円(84名分)
写真代	6,620円(作業記録用)
合 計	641,632円
収支差引	0円

あとがき

梅雨の長雨に続いて、盆を中心に例年になく記録的な猛暑が続く熱中症も多発しました。九月に入り、出穂の遅れていた稲穂も色付き始め一段と秋の気配を感じるようになりました。

秋の穫り入れも始まりました。豊作を期待したいと思います。

活性化機構もこれから新しい活動を展開します。会員皆様のご協力をお願いいたします。